

# 齋賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

<< 小児診療における・すべからず集 | TOP | 最近の報道 ; ダイジェスト版 >>

2018年11月30日

## 生後2か月以内の乳児の発熱時の評価判断

### 生後2か月以内の乳児の発熱時の評価判断

Risk Stratification of Febrile Infants ?60 Days Old Without Routine Lumbar Puncture PEDIATRICS Volume 142, number 6, December 2018



本院でも、生後3か月以内の乳児が発熱をした場合は、以前は入院設備のある病院に半ば自動的に紹介していました。この時期には細菌性髄膜炎を鑑別する必要があるからです。しかし、ワクチン新時代を迎え、肺炎球菌やHibによる侵襲的感染症が劇的に減少しています。発熱乳児を全て入院させ敗血症と診断する事は、受け入れ側の病院や乳児の保護者においても甚大な負担を要します。そのため、以前から侵襲的細菌感染症のリスク評価のクライテリアはありましたが、修正したクライテリアを基に今日的な意義を研究した論文が、Pediatricsに掲載されています。まず元のクライテリアのPDF（日本版とUPTODATEより）を見てから本論文のRochesterと修正Philadelphiaを比較してください。（二つのクライテリアとも髄液検査を行わない点と、修正Philadelphiaでは生後28日以上は低リスクとしています。）

纏めますと

- 1) 生後60日以内の乳児の発熱では、重症な細菌感染症が10%ある。そのリスク評価にRochesterとPhiladelphiaが以前よりある。ワクチンによる新時代を迎え、本論文では修正PhiladelphiaとRochesterを用いて侵襲的細菌感染症のリスクが低い場合と、逆にリスクが高い場合は髄液検査を推奨していない。
- 2) 生後60日以内の乳児で侵襲的細菌感染症と診断された135名（87.4%が菌血症だが髄膜炎は無く12.6%が髄膜炎を併発）と、コントロール群として249名を二つのクライテリアで比較しました。（侵襲的細菌感染症の定義は省略）その感度は両クライテリアとも良好で、修正Philadelphiaでは91.9に対してRochesterは81.5でしたが特異度は34.5対59.8と修正Philadelphiaの方が低下していました。低リスクで大丈夫とは言い切れませんが、侵襲的細菌感染症を診断するにはイマイチです。
- 3) 28週（約1か）での侵襲的細菌感染症は68例ありましたが、両クライテリア共に感度は83.6%でした。修正Philadelphiaでは、低リスクとされた人に髄膜炎はありませんでした。Rochesterでは低リスクと診断された中に髄膜炎が2例ありました。
- 4) 髄液検査をしない修正Philadelphiaでは、髄膜炎に対しては全て高リスク群と診断していました。菌血症の何人かは低リスクと診断されていました。従って、低リスクと診断され救急外来から帰宅しても十分な経過観察が必要です。
- 5) 1～3か月の発熱乳児ではたったの0.2%しか髄膜炎を発症していないので、ルーチンに髄液検査を

<< 2020年02月 >>

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

### 最近の記事

- (02/12) [ゾフルーザは季節性インフルエンザ治療に使うべきではない 菅谷憲夫氏の提言](#)
- (02/10) [米国予防接種スケジュール・2020年版](#)
- (02/08) [新型コロナウイルスに対するリスク評価の暫定的なアメリカのガイドライン](#)
- (02/06) [前立腺癌検診のPSAによる効率化](#)
- (02/03) [小さな旅・幸せの赤い提灯](#)

### 最近のコメント

- [新型コロナウイルスに対するリスク評価の暫定的なアメリカのガイドライン](#) by (02/09)
- [小さな旅・幸せの赤い提灯](#) by (02/05)
- [新型コロナウイルスの武漢での初期伝搬について](#) by (02/03)
- [新型コロナウイルスの武漢での初期伝搬について](#) by (02/03)
- [新型コロナウイルスの武漢での初期伝搬について](#) by (02/02)

### タグクラウド

### カテゴリ

- [小児科](#) (186)
- [循環器](#) (195)
- [消化器・PPI](#) (115)
- [感染症・衛生](#) (75)
- [糖尿病](#) (109)
- [喘息・呼吸器・アレルギー](#) (84)

- [インフルエンザ](#)(97)
- [肝臓・肝炎](#)(60)
- [薬・抗生剤・サプリメント・栄養](#)
- [指導](#)(43)
- [脳・神経・精神・睡眠障害](#)(38)
- [整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(28)
- [ワクチン](#)(31)
- [癌関係](#)(10)
- [脂質異常](#)(28)
- [甲状腺・副甲状腺](#)(17)
- [婦人科](#)(8)
- [泌尿器・腎臓・前立腺](#)(30)
- [熱中症](#)(7)
- [日記](#)(17)
- [その他](#)(63)

### 過去ログ

- [2020年02月](#)(6)
- [2020年01月](#)(19)
- [2019年12月](#)(14)
- [2019年11月](#)(15)
- [2019年10月](#)(18)
- [2019年09月](#)(18)
- [2019年08月](#)(14)
- [2019年07月](#)(14)
- [2019年06月](#)(16)
- [2019年05月](#)(14)
- [2019年04月](#)(18)
- [2019年03月](#)(19)
- [2019年02月](#)(19)
- [2019年01月](#)(15)
- [2018年12月](#)(16)
- [2018年11月](#)(20)
- [2018年10月](#)(20)
- [2018年09月](#)(18)
- [2018年08月](#)(24)
- [2018年07月](#)(18)
- [2018年06月](#)(18)
- [2018年05月](#)(20)
- [2018年04月](#)(19)
- [2018年03月](#)(20)
- [2018年02月](#)(14)
- [2018年01月](#)(14)
- [2017年12月](#)(20)
- [2017年11月](#)(17)
- [2017年10月](#)(22)
- [2017年09月](#)(18)
- [2017年08月](#)(20)
- [2017年07月](#)(23)
- [2017年06月](#)(19)
- [2017年05月](#)(19)
- [2017年04月](#)(22)
- [2017年03月](#)(20)
- [2017年02月](#)(18)
- [2017年01月](#)(21)
- [2016年12月](#)(17)
- [2016年11月](#)(25)
- [2016年10月](#)(22)
- [2016年09月](#)(21)
- [2016年08月](#)(20)
- [2016年07月](#)(26)
- [2016年06月](#)(27)
- [2016年05月](#)(24)
- [2016年04月](#)(24)
- [2016年03月](#)(25)
- [2016年02月](#)(23)

する意義は無い。一方侵襲的細菌感染症は全体で2%程度の発症でした。  
 例えば生後2-8週以下の発熱乳児で、修正Philadelphiaで低リスクなら侵襲的細菌感染症は2%、髄膜炎は更にその1/6 (0.3%) となります。  
 (プロカルシトニンに関しては本院で実施しておらず省略)

私見)  
 生後1か月以内の発熱乳児はハイリスクとして、2か月以降の場合はこの修正Philadelphiaを活用しようと思います。  
 ともあれ注意深い経過観察と尿検査は必須です。

[本論文・クライテリアの訳.pdf](#)

[Risk Stratification of Febrile Infants ?60 Days Old Without Routine Lumbar P.pdf](#)  
[rochester\\_クライテリア.pdf](#)

下記にネットのアクセスを掲載します。

<https://www.mdcalc.com/rochester-criteria-febrile-infants>



[ブックマーク](#)

**【小児科の最新記事】**

- ※ [子どもの事故・窒息死](#)
- ※ [川崎病の全身における動脈瘤発生の可能性](#)
- ※ [フッ素の安全性についてのレポート](#)
- ※ [小児の外科における5つのべからず](#)
- ※ [安全な乳児の睡眠](#)

posted by 斎賀一 at 21:37 | [Comment\(0\)](#) | [小児科](#)

この記事へのコメント  
 コメントを書く

お名前:

メールアドレス:

ホームページアドレス:

[2016年01月](#) (23)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)  
[RSS 2.0](#)

コメント:

